銭座小　学校だより

つながる心

～学校教育目標～
みんなの笑顔 つながる心 未来をひらく

令和８年４月 15 日　第３号
発行者　校長　山本 高靖

学校教育目標の変更について

令和８年度の学校教育目標を次のように定めました。

みんなの笑顔　つながる心　未来をひらく

令和７年度は、学校教育目標「人権尊重の精神を基盤とし、共に生きる豊かな心とたくましい身体を持ち、自ら学ぶ意欲と確かな学力を身に付けた人間性豊かな児童の育成」のもと、教育活動に取り組みましたが、今年度は大きく変更いたしました。

本校の学校教育目標は、これまでも数年ごとにマイナーチェンジがなされていますが、今回のように大きく変わるのは、何十年ぶりのことです。

変更の意図として最も重視したのは、覚えやすさです。児童や教職員はもちろん、保護者・地域の皆様方にも本校の学校教育目標を覚えていただきたいと考えています。地域の未来そのものである子供たちの健やかな成長を、みんなで心を合わせ育んでいくための合言葉になればという願いを込めています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

目標の内容については、本校がこれまで築き上げてきた同和教育・人権教育を中核に据えつつ、次のような意味付けをしています。概要となりますが、お知らせします。

みんなの笑顔とは、すべての子どもたちの笑顔を保障することです。人権尊重の精神を基盤とし、一人ひとりが大切にされる学校、一人ひとりの個性が輝く学校であることを本校教育活動の礎とします。

人権教育を重視し、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるようになり、そのことが様々な場面で具体的な態度や行動として現れる資質・能力の育成を図ります。

つながる心とは、家族や友達、学校の仲間、先生、地域の方をはじめ多様な他者と絆を紡ぎ、心を通わせ、互いに支え合い、誰もが自分らしく楽しく幸せに生きていくことのできる資質・能力を育むことです。



令和の日本型学校教育で求められている「責任ある行動をとる力、人間関係を構築する力、対立を克服する力、多様な他者を尊重し協働していく力」の育成を図ります。また、校舎レリーフ「なかよし」（先輩や地域の方の願い）の意味も含ませています。

未来をひらくとは、目の前の目標や、近未来や将来の夢に向かって、困難を乗り越え、努力を継続し、自らの未来をたくましく切り拓いていくことのできる資質・能力を育むことです。

学習指導要領に示されている主体的・対話的で深い学びによって、確かな学力を育成するとともに、ふるさと長崎を愛する心の醸成、体力の向上、健康の保持増進を図ります。